

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	21—デ学—4
-----------------	---------

平成 21 年度配分 研究成果の概要

研究名	CAD・CG 教育の将来研究				
配分を受けた 特別研究費	特別研究費 1750 千円				
研究者氏名 (代表者)	学 部 名 (研究科名)	学 科 名	職	氏 名	共同研究の 場合の分担
	デザイン学部	生産造形学科	講師	高山靖子	全体統括
		生産造形学科	教授	河岡徳彦	プロダクトデザイン領域を中心とした調査及び方向付け
		メディア造形学科	教授	望月達也	プロダクトデザイン領域を中心とした調査及び方向付け
		メディア造形学科	准教授	的場ひろし	ユーザーインターフェース領域を中心とした調査及び方向付け
		メディア造形学科	教授	宮田圭介	ユーザーインターフェース領域を中心とした調査及び方向付け
		空間造形学科	准教授	花澤信太郎	空間デザイン領域を中心とした調査及び方向付け
発表の方法 (予定で可)	① 紀 要			号 数	第 11 号 (2011 年 3月発行)
	② 学会等での発表 学会等名:日本デザイン学会			発表日 (発表 予定日)	平成22年 7月 3日
	3 その他			発表日 (発表 予定日)	平成 21 年 7 月 23 日

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

現在、デザインプロセスで欠かすことのできないスキルとなった CAD(Computer Aided Design)の現状を分析し、社会から求められる人材を展望。それに基づいた人材育成を目標とする本学における CAD・CG 教育の次世代カリキュラム構想を提案する。

(研究の実施方法等)

1. 社会的な人材の需要

- ・企業訪問、聞き取り、関連文献などによるデータ収集。

2. 本学への求人と学生の希望状況

- ・本学学生へのアンケート集計結果に基づく分析

3. 他大学の状況

- ・公開シラバス収集・分析
- ・大学訪問、担当教員への聞き取り調査

上記3点を実施、分析し、将来のカリキュラム構想を提案した。

(得られた成果等)

社会からデザイン系大学に求められる人材の把握。

学生の希望実態把握。

プロダクトデザイン領域で行われているCAD教育の実情把握。

デザイン業界におけるCADツールの使用実態の把握。

社会の要望に適した人材育成のためのプログラムの骨組み提案。

大学機材の見直し。

以上の成果を本年度実施のCAD教育研究における具体的なCAD教育プログラムへ反映させ、研究を継続中である。